

書のあゆみ

—BC200年からAD220年までの書のたび—
隸書とその歴史
(隸書の中にも草書が、行書が……)



(西嶽華山廟碑(156年)の原石片。陝西省陰県にあったが、いまはその姿をとどめない)

BC 200年からAD 220年までの書のたび

書のあゆみ

— 隷書とその歴史 —

(隷書の中にも草書が、行書が……)

編者 荒金大琳

西嶽華山廟碑の原石片



(左側から) 西嶽華山廟碑の原石の断面



(右側から) 西嶽華山廟碑の原石の断面

206		221		249		周											
秦		東周															
戦国時代																	
10		219		56		43		15 21		41		69 76		39			
始皇帝		○瑯邪台刻石		石鼓文		姫延		姫定		姫扁		姫喜		姫驕			
二世皇帝		秦山刻石				赧王		慎覬		显王		烈王		安王			
7		221		286		313		齊と魏と楚に分裂されて滅ぶ									
秦王		222		5558		72 79		1216 21		333		燕		齊			
秦王		燕王 姫喜		7 孝王		6 武成王		5 惠王		4 昭王		2 燕王		1 易王			
秦王		7 孝王		6 武成王		5 惠王		4 昭王		3 燕王		1 威王		359			
秦王		5 齊王		65		4 襄王		83 84		3 閔王・東帝		1 宣王		20			
秦王		5 齊王		65		4 襄王		83 84		3 閔王・東帝		1 宣王		20			
秦王		247		250		251		3 昭襄王・西帝		7 2 武王		11 1 惠王		337			
秦王		247 (始皇帝)		250 (庄襄王)		251 (孝文王)		3 昭襄王・西帝		7 2 武王		11 1 惠王		337			
秦王		22		66		295		中山(趙・燕と共に中山を滅す)									
秦王		6 代王		28 5 幽繆王		36 4 悼襄王		45 3 孝成王		66 2 惠文王		99 1 武灵王・主父		325			
秦王		6 代王		28 5 幽繆王		36 4 悼襄王		45 3 孝成王		66 2 惠文王		99 1 武灵王・主父		325			
秦王		25		28		43		77		96		19		370			
秦王		6 魏王		5 景繆王		4 安釐王		3 昭王		2 襄王		1 惠王		370			
秦王		6 魏王		5 景繆王		4 安釐王		3 昭王		2 襄王		1 惠王		370			
秦王		30 5 韓王		39		73		96		12		333		375 鄭			
秦王		30 5 韓王		39		73		96		12		333		375 鄭			
秦王		23		38		64		99		29		40		70			
秦王		23 幽王		23 考烈王		22 頃襄王		21 怀王		20 威王		19 宣王		18 肅王			
秦王		23 幽王		23 考烈王		22 頃襄王		21 怀王		20 威王		19 宣王		18 肅王			
秦王		26 楚王		34 越 (禹の子孫)		249 魯 (周の成王の元子を任命した国)		334 越 (禹の子孫)		楚		楚		楚			
秦王		26 楚王		34 越 (禹の子孫)		249 魯 (周の成王の元子を任命した国)		334 越 (禹の子孫)		楚		楚		楚			
秦王		※楚簡		楚		楚		楚		楚		楚		楚			

漢

前漢 (西漢) -215年間-

BC7	BC33	BC49	BC74	BC87	BC141	BC157	BC180	BC188	BC195																											
13 哀帝 (劉欣)	12 成帝 (劉騫)	11 元帝 (劉奭)	10 宣帝 (劉詢)	9 劉賀	8 昭帝 (劉弗陵)	7 武帝 (劉徹)	6 景帝 (劉啓)	5 文帝 (劉恒)	4 後少帝 (劉弘)	3 前少帝 (劉恭)	2 惠帝 (劉盈)	1 高祖 (劉邦)																								
BC12	BC16	BC20	BC24	BC28	BC32	BC38	BC43	BC48	BC53	BC57	BC61	BC65	BC69	BC73	BC74	BC80	BC86	BC88	BC92	BC96	BC100	BC104	BC110	BC116	BC122	BC128	BC134	BC140	BC143	BC149	BC156	BC163	BC179	BC187	BC194	
太初	元延	永始	鴻嘉	陽朔	河平	建始	建昭	永光	初元	甘露	五鳳	神爵	地節	本始	元鳳	始元	征和	太始	天漢	太初	元封	元鼎	元狩	元朔	元光	元建	後元	中元	前元	後元	前元	後元	前元	後元	前元	後元

元建緩 壽平和
 竟寧
 黃龍
 元平
 後元



羣臣上醜刻石
 (趙三年(前二五八))
 BC158 群臣上醜刻石 (趙22年)

秦篆

- 初元三年簡
- 五鳳元年簡
- 魯孝王刻石 (曲阜)
- 本始六年簡
- 天漢三年簡 (記年簡では最も古い)
- 大始三年簡
- 「左司空」武帝陵



魯孝王刻石 (BC56年)
 五鳳二年魯廿四年六月四日成



(秦・泰山刻石)

趙廿二年八月丙寅羣臣上醜此石北

●は本著記載資料

霍去病墓石刻題記「左司空」



策の過ちを認め匈奴との漢の七代目の皇帝・武帝は匈奴(きよつど)・国境沿いの遊牧民族)との和親政策を改め交戦に踏み切ります。強い漢帝国への襲身です。しかし、武帝はBC89年、自分の政

第一節 刻字と肉筆 1、刻字「左司空」

策の過ちを認め匈奴との漢の七代目の皇帝・武帝は匈奴(きよつど)・国境沿いの遊牧民族)との和親政策を改め交戦に踏み切ります。強い漢帝国への襲身です。しかし、武帝はBC89年、自分の政

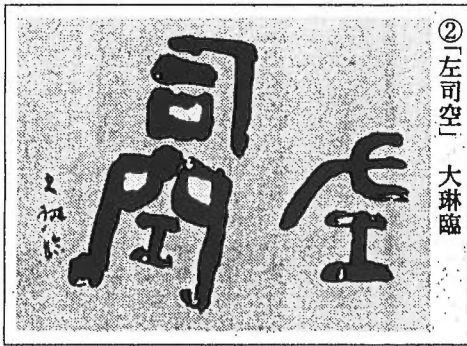
策の過ちを認め匈奴との漢の七代目の皇帝・武帝は匈奴(きよつど)・国境沿いの遊牧民族)との和親政策を改め交戦に踏み切ります。強い漢帝国への襲身です。しかし、武帝はBC89年、自分の政

策の過ちを認め匈奴との漢の七代目の皇帝・武帝は匈奴(きよつど)・国境沿いの遊牧民族)との和親政策を改め交戦に踏み切ります。強い漢帝国への襲身です。しかし、武帝はBC89年、自分の政

時代で異なる刻石の方法

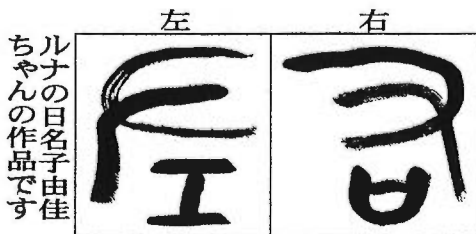
い・武帝の家臣)の墓石と篆筆が乱れてもゆっくりに力を注ぎ、人々の前に立つて自ら田を耕したその漢の武帝の墓「茂陵」に「霍去病(かくきよ)へ

い・武帝の家臣)の墓石と篆筆が乱れてもゆっくりに力を注ぎ、人々の前に立つて自ら田を耕したその漢の武帝の墓「茂陵」に「霍去病(かくきよ)へ



の形は何とかが特徴がつかめましたが、「司」と「空」の形は碑面に直接文字を彫り、唐代では直

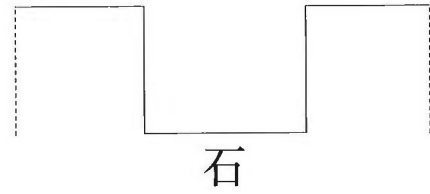
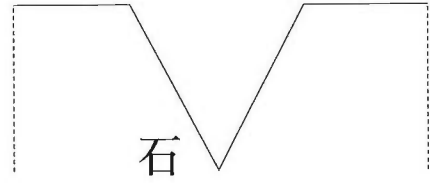
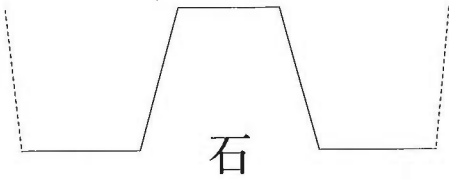
の形は何とかが特徴がつかめましたが、「司」と「空」の形は碑面に直接文字を彫り、唐代では直



ルナの日名子由佳ちゃんの作品です

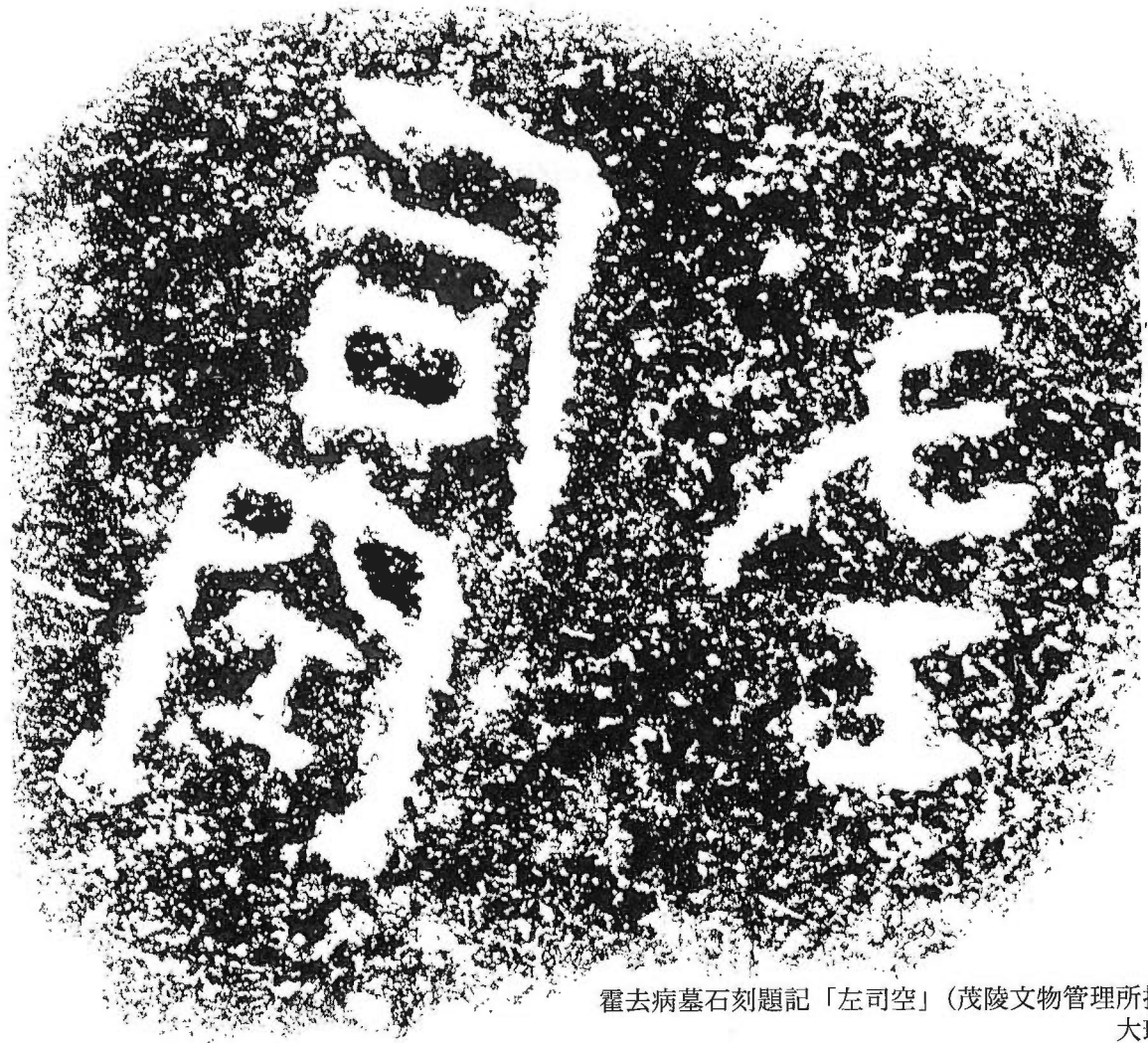
刻み方について

「左司空」はどっちの方法でしようか？



(陽 刻)

(陰 刻)



霍去病墓石刻題記「左司空」(茂陵文物管理所拓)
大琳蔵



「司」

